

〈算数科〉 5年

「大田区学習効果測定」結果の分析

- ・正答率は領域別、観点別ともにすべて目標値を上回っている。
- ・達成率(領域別、観点別経年比較)においても平均正答率がすべて目標値を上回っている。
- ・領域別に分析する区分においても、正答率はすべて目標値を10ポイント以上、上回っている。

重点課題

〈算数への関心・意欲・態度〉

- ・問題文や資料、数値を正確に読み取り、いろいろな考え方で課題を解決しようとする。

〈数学的な考え方〉

- ・言葉、数、図、式、数直線などを使って、自分の考えまとめ、適切に表現できるようにする。

〈数量や図形についての技能〉

- ・整数÷整数=小数第一位の除法の立式ができるようにする。
- ・小数のわり算の筆算で、商や余りの大きさを考え正しく求められるようにする。

〈数量や図形についての知識・理解〉

- ・直方体の展開図の理解を正確にする。

授業改善策

〈算数への関心・意欲・態度〉

- ・デジタル教科書を活用し、合同な図形等についての理解を深める。
- ・日常場面に関連付けたり具体物を使ったりして、学習課題を明確にして、学ぶ意欲を高める。
- ・スキルアップタイム(朝学習時間)に基礎的な計算練習を行い、基礎計算力を高める。
- ・様々な考えを取り上げ、友達の考えから学ぶ場を設ける。友達の説明や考えを聞き、自分の考えをと比較し、深い学びへとつなげていく。

〈数学的な考え方〉

- ・数式、図、数直線を用いて考え、友達の考えから考えを広げる。
- ・ノートの書き方を指導して、考えを分かりやすく整理してまとめる確保する。

〈数量や図形についての技能〉

- ・朝学習や家庭学習で、小数や分数の計算練習の時間を確保し、反復練習をする。
- ・小数のわり算の計算が苦手な児童には、答えの見当をつけさせ、筆算を丁寧に書いて計算を進めるようにする。

〈数量や図形についての知識・理解〉

- ・用語、単位や公式などを、図を使ったり活動を通して理解させたりするとともに、振り返りカードを書くことで理解の定着を図る。
- ・学習した内容を教室に掲示し、基礎基本の定着を確実にする。